

2023年度の需給見通しについて (報告)

2023年2月20日

調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 事務局

- 2023年度の需給見通しについて、昨年9月時点において、全エリアで厳気象H1需要に対して、予備率3%を確保できていたが、予備率が3%台となる月・エリアがあり、需給両面での変化要因が残っており、精査が必要な状況であった。
- このため、需給バランスが厳しい月・エリアを中心に、発電機の補修点検時期の調整に取り組み、昨年10月時点で一部調整中であったものの、事業者のご協力により多くのエリアで予備率が改善した。しかしながら、7月の東京エリアで3.3%となるなど、依然として厳しい状況であった。
- 供給計画の取りまとめ途上にあり、全事業者の計画等を把握することはできていないものの、現時点で把握しうる事業者の供給計画（案）に基づき、需給バランスを更新した。

- 需給バランスが厳しい月・エリアを中心に、発電機の補修点検時期の調整に取組み、一部調整中であつたものの、事業者のご協力により多くのエリアで予備率が改善。しかしながら、7月の東京エリアが3.3%と依然として厳しい状況であつた。
- 今後も需給状況に応じて変更の可能性はあるが、残っていた補修点検時期等を調整した。

2023年度の需給見通し（発電機の補修調整後）

4

- 一部確認中の補修点検が残っており、調整途上ではあるが、発電機の補修点検時期の調整等により、7月の東京エリアを除き、夏季の予備率は4%台に改善するとともに、冬季は5%程度まで改善。端境期については、今回の補修時期の調整においても必要予備率を確保。
- なお、今後も需給両面で変化要素が残っている。

厳気象H1需要に対する各エリアの予備率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道				11.6%	8.6%	14.9%			12.8%	6.8%	9.0%	13.8%
東北				11.6%	8.3%	14.9%			10.8%	6.0%	7.4%	13.8%
東京				3.3%	4.2%	4.4%			10.8%	4.9%	7.4%	10.6%
中部				4.3%	5.5%	4.4%			10.8%	4.9%	7.4%	10.6%
北陸				14.6%	15.1%	17.4%			10.8%	7.0%	7.4%	10.7%
関西				14.6%	15.1%	17.4%			10.8%	7.0%	7.4%	10.7%
中国				14.6%	15.1%	17.4%			10.8%	7.0%	7.4%	10.7%
四国				14.6%	19.4%	17.4%			10.8%	7.0%	7.4%	22.1%
九州				14.6%	15.1%	17.4%			10.8%	7.0%	7.4%	10.7%
沖縄				23.3%	23.7%	27.6%			30.9%	32.6%	53.0%	60.2%

H3需要に対する各エリアの予備率

※ 今夏の需要増加による影響は未反映

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	29.2%	45.7%	47.3%	20.8%	23.2%	27.1%	27.2%	21.4%	17.5%	16.0%	16.0%	25.2%
東北	29.2%	29.4%	19.9%	18.4%	22.0%	27.5%	27.2%	21.4%	17.5%	16.0%	16.0%	25.2%
東京	11.5%	19.9%	19.8%	12.4%	13.6%	16.3%	19.8%	10.4%	14.6%	14.1%	16.0%	18.5%
中部	29.0%	20.4%	22.7%	12.4%	13.6%	16.3%	19.8%	12.5%	14.6%	14.1%	13.8%	18.5%
北陸	29.0%	33.6%	32.6%	21.2%	22.1%	23.7%	19.8%	12.5%	14.6%	14.1%	13.8%	21.6%
関西	29.0%	33.6%	32.6%	21.2%	22.1%	26.1%	23.2%	20.6%	14.6%	14.1%	13.8%	21.6%
中国	29.0%	33.6%	32.6%	21.2%	22.1%	26.1%	23.2%	20.6%	14.6%	14.1%	13.8%	21.6%
四国	29.0%	33.6%	32.6%	21.2%	28.5%	26.1%	34.3%	20.6%	14.6%	19.5%	19.2%	41.4%
九州	29.0%	33.6%	32.6%	21.2%	22.1%	27.1%	44.8%	35.9%	14.6%	14.1%	13.8%	21.6%
沖縄	65.1%	59.2%	39.7%	38.7%	36.8%	31.4%	36.6%	52.6%	63.7%	63.2%	68.4%	78.5%

記載に一部訂正がありますので、次ページをご参照ください。
訂正内容については、第84回本委員会資料3をご参照ください。

https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/files/chousei_84_03.pdf

ランスを確定

することはできないものの、2/10時点で提出された供給計画（案）に基づき、供給力を更新した。

- 昨年10月時点と比較して、夏季においては、東北・中部・九州エリアでの休止予定電源の運転継続や休止電源の再稼働による増加及び関西エリアでの補修増加による供給力の減少、冬季においても東北・中部・九州エリアでの夏季同様の増加及び北海道エリアでの電源の休止や12月東京エリアでの水力供給力の減少など、増加・減少両方向で供給力の変化が計上されている。
- 今後、供給計画（案）の提出データを確認していくこと等から、引き続き変化要因は残っている。

今回の更新による供給力増減（10月時点差）

（単位：万kW）

エリア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	▲ 4	▲ 3	9	17	8	45	35	26	▲ 28	▲ 28	▲ 22	23
東北	17	▲ 94	69	64	71	173	128	129	180	139	87	96
東京	84	▲ 179	▲ 199	▲ 15	▲ 22	44	▲ 119	▲ 117	▲ 113	8	▲ 99	22
中部	▲ 68	▲ 39	98	168	159	107	▲ 32	4	148	179	136	15
北陸	▲ 14	▲ 14	1	▲ 8	▲ 14	4	▲ 0	▲ 11	▲ 12	▲ 9	▲ 8	23
関西	▲ 26	▲ 72	▲ 121	▲ 108	▲ 62	▲ 151	▲ 71	▲ 76	▲ 47	▲ 11	9	▲ 23
中国	▲ 75	▲ 45	▲ 36	▲ 8	▲ 6	3	▲ 50	▲ 11	▲ 12	▲ 6	▲ 10	▲ 98
四国	▲ 72	▲ 147	▲ 22	▲ 65	▲ 25	▲ 24	▲ 21	▲ 45	▲ 31	▲ 29	▲ 33	▲ 22
九州	73	85	2	37	32	30	▲ 19	▲ 138	6	64	162	52
9エリア計	▲ 84	▲ 506	▲ 198	82	141	231	▲ 151	▲ 238	90	307	222	88

※1 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある ※2 沖縄エリアは作業の関係で未集計 ※3 高浜4のトラブル停止は未反映

- 2023年度供給計画の取りまとめ途上にあることから、全事業者の計画に基づき需給バランスを確定することはできないものの、2/10時点で提出された供給計画（案）に基づき、供給力を更新した。
- 昨年10月時点と比較して、夏季においては、東北・中部・九州エリアでの休止予定電源の運転継続や休止電源の再稼働による増加及び関西エリアでの補修増加による供給力の減少、冬季においても東北・中部・九州エリアでの夏季同様の増加及び北海道エリアでの電源の休止や12月東京エリアでの水力供給力の減少など、増加・減少両方向で供給力の変化が計上されている。
- 今後、供給計画（案）の提出データを確認していくこと等から、引き続き変化要因は残っている。

今回の更新による供給力増減（10月時点差）

（単位：万kW）

エリア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	▲ 5	▲ 3	9	17	8	45	34	26	▲ 28	▲ 28	▲ 22	23
東北	3	▲ 94	69	64	71	173	121	144	180	139	87	96
東京	99	▲ 186	▲ 210	▲ 35	▲ 46	34	▲ 112	▲ 129	▲ 131	▲ 22	▲ 123	33
中部	▲ 68	▲ 38	98	169	159	107	▲ 32	4	148	179	136	15
北陸	▲ 14	▲ 11	5	1	▲ 4	8	▲ 0	▲ 13	▲ 6	3	0	19
関西	▲ 26	▲ 71	▲ 120	▲ 106	▲ 59	▲ 150	▲ 71	▲ 76	▲ 45	▲ 7	11	▲ 24
中国	▲ 75	▲ 45	▲ 36	▲ 7	▲ 5	4	▲ 47	▲ 11	▲ 11	▲ 5	▲ 9	▲ 98
四国	▲ 72	▲ 146	▲ 21	▲ 63	▲ 22	▲ 22	▲ 21	▲ 45	▲ 29	▲ 25	▲ 30	▲ 24
九州	73	87	6	43	40	34	▲ 22	▲ 138	12	74	171	48
9エリア計	▲ 84	▲ 506	▲ 198	82	141	231	▲ 151	▲ 238	90	307	222	88

※1 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある ※2 沖縄エリアは作業の関係で未集計 ※3 高浜4のトラブル停止は未反映

記載に一部訂正がありますので、次ページをご参照ください。
訂正内容については、第84回本委員会資料3をご参照ください。

https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/files/chousei_84_03.pdf

計画の変化

幅は限定的である一方で、補修計画の変更以外の要因による変化が大きくなっている。

補修計画の変更による影響（10月時点差）

（単位：万kW）

エリア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	▲ 4	▲ 2	10	▲ 14	▲ 24	17	25	45	▲ 3	▲ 4	0	0
東北	▲ 66	▲ 118	5	0	0	79	123	137	92	58	▲ 0	14
東京	▲ 9	▲ 186	▲ 223	▲ 12	▲ 0	60	▲ 6	▲ 52	17	12	15	5
中部	▲ 242	▲ 178	▲ 58	0	▲ 6	▲ 32	▲ 169	▲ 138	▲ 10	22	▲ 26	▲ 132
北陸	▲ 11	▲ 11	4	2	▲ 8	0	1	▲ 5	▲ 3	0	0	0
関西	▲ 18	▲ 64	▲ 107	▲ 88	▲ 39	▲ 96	▲ 43	▲ 57	▲ 38	▲ 38	▲ 4	▲ 5
中国	▲ 85	▲ 43	▲ 33	▲ 0	7	10	▲ 46	2	6	1	▲ 3	▲ 88
四国	▲ 50	▲ 130	0	▲ 40	▲ 0	0	0	▲ 16	0	0	0	0
九州	26	45	▲ 40	▲ 4	▲ 13	▲ 20	▲ 54	▲ 171	▲ 27	5	104	5
9エリア計	▲ 459	▲ 687	▲ 442	▲ 156	▲ 82	18	▲ 170	▲ 253	35	55	86	▲ 200

補修計画の変更以外の影響（10月時点差）

（単位：万kW）

エリア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	▲ 0	▲ 2	▲ 1	31	32	28	10	▲ 19	▲ 25	▲ 24	▲ 22	23
東北	83	25	64	64	71	94	4	▲ 8	88	81	87	82
東京	93	7	24	▲ 3	▲ 21	▲ 16	▲ 113	▲ 65	▲ 131	▲ 4	▲ 113	17
中部	175	140	156	168	165	138	137	141	158	156	162	147
北陸	▲ 2	▲ 3	▲ 3	▲ 10	▲ 6	4	▲ 1	▲ 6	▲ 9	▲ 9	▲ 8	23
関西	▲ 8	▲ 8	▲ 14	▲ 21	▲ 23	▲ 55	▲ 27	▲ 19	▲ 9	27	13	▲ 18
中国	10	▲ 2	▲ 3	▲ 7	▲ 13	▲ 6	▲ 4	▲ 14	▲ 18	▲ 6	▲ 7	▲ 10
四国	▲ 22	▲ 16	▲ 22	▲ 25	▲ 25	▲ 24	▲ 21	▲ 29	▲ 31	▲ 29	▲ 33	▲ 22
九州	47	40	42	41	44	50	34	33	33	58	57	47
9エリア計	375	181	244	238	223	213	18	15	12	238	122	299

※1 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある ※2 沖縄エリアは作業の関係で未集計 ※3 高浜4のトラブル停止は未反映

- 今回計上した増加・減少両方向の供給力変化を要因分解すると、夏季・冬季の補修計画の変化幅は限定的である一方で、補修計画の変更以外の要因による変化が大きくなっている。

補修計画の変更による影響（10月時点差）

（単位：万kW）

エリア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	▲ 4	▲ 2	10	▲ 14	▲ 24	17	25	45	▲ 3	▲ 4	0	0
東北	▲ 66	▲ 118	5	0	0	79	123	137	92	58	▲ 0	14
東京	▲ 9	▲ 186	▲ 223	▲ 12	▲ 0	60	▲ 6	▲ 52	17	12	15	5
中部	▲ 242	▲ 178	▲ 58	0	▲ 6	▲ 32	▲ 169	▲ 138	▲ 10	22	▲ 26	▲ 132
北陸	▲ 11	▲ 11	4	2	▲ 8	0	1	▲ 5	▲ 3	0	0	0
関西	▲ 18	▲ 64	▲ 107	▲ 88	▲ 39	▲ 96	▲ 43	▲ 57	▲ 38	▲ 38	▲ 4	▲ 5
中国	▲ 85	▲ 43	▲ 33	▲ 0	7	10	▲ 46	2	6	1	▲ 3	▲ 88
四国	▲ 50	▲ 130	0	▲ 40	▲ 0	0	0	▲ 16	0	0	0	0
九州	26	45	▲ 40	▲ 4	▲ 13	▲ 20	▲ 54	▲ 171	▲ 27	5	104	5
9エリア計	▲ 459	▲ 687	▲ 442	▲ 156	▲ 82	18	▲ 170	▲ 253	35	55	86	▲ 200

補修計画の変更以外の影響（10月時点差）

（単位：万kW）

エリア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	▲ 0	▲ 2	▲ 1	31	32	28	10	▲ 19	▲ 25	▲ 24	▲ 22	23
東北	69	25	64	64	71	94	▲ 3	6	88	81	87	82
東京	107	▲ 1	13	▲ 23	▲ 45	▲ 26	▲ 106	▲ 77	▲ 148	▲ 34	▲ 138	27
中部	175	140	156	169	165	138	137	141	158	156	162	147
北陸	▲ 3	▲ 0	1	▲ 1	4	7	▲ 1	▲ 7	▲ 3	3	0	19
関西	▲ 8	▲ 7	▲ 13	▲ 19	▲ 21	▲ 54	▲ 27	▲ 19	▲ 8	31	16	▲ 19
中国	10	▲ 1	▲ 2	▲ 7	▲ 13	▲ 6	▲ 1	▲ 14	▲ 18	▲ 5	▲ 6	▲ 11
四国	▲ 22	▲ 16	▲ 21	▲ 22	▲ 22	▲ 22	▲ 21	▲ 29	▲ 29	▲ 25	▲ 30	▲ 24
九州	47	43	46	47	52	54	31	33	39	69	67	43
9エリア計	375	181	244	238	223	213	18	15	55	252	136	288

※1 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある ※2 沖縄エリアは作業の関係で未集計 ※3 高浜4のトラブル停止は未反映

- 石炭ガス化複合発電プラント（IGCC）に関して、2023年度は、これまでのトラブル等の原因を踏まえた大規模な対策工事を実施予定であり、1台は年度内に工事を終え、実証試験の位置付けとして、稼働により対策内容を確認し、2024年度以降の安定運転に万全を期す計画となっている。
- 2023年度においても稼働予定があるものの、基本的にこれまで同様、供給力に織り込まず、実需給断面で稼働ができれば、追加の供給力となる。
- 引き続き事業者と連携しつつ、対策工事の進捗や試験結果等により安定運転の可能性を確認していく。

現状計画

エリア	発電所名・号機 (電源種別)	設備容量 (万kW)	現時点の状況
東京	勿来IGCC (火力)	52.5	・現状、大規模対策工事のための準備工事中。 ・2023年3月から12月末まで大規模対策工事を実施し、以降は定格運転予定。
	広野IGCC (火力)	54.3	・現在、大規模対策工事のための準備工事中。 ・2023年4月から2024年3月末まで大規模対策工事を実施予定。

- 厳気象H1・H3需要とも、需要想定の在り方に係る審議結果を踏まえた需要想定に更新。
- 現時点において、今冬実績がH1需要想定を上回ったエリア（北海道・東北・中部）もあり、厳寒H1需要については、実績を踏まえた今後の分析に応じて、想定が修正される可能性がある。

厳気象H1需要の増減（10月時点差）												（単位：万kW）	
エリア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北海道				0	0	▲ 0			▲ 12	▲ 0	▲ 0	1	
東北				42	17	3			38	21	33	9	
東京				1	1	94			33	30	30	▲ 12	
中部				▲ 36	▲ 36	▲ 54			▲ 50	▲ 4	▲ 4	▲ 23	
北陸				▲ 1	▲ 1	2			▲ 1	2	2	▲ 7	
関西				3	3	▲ 19			▲ 49	▲ 30	▲ 30	▲ 63	
中国				▲ 9	▲ 9	▲ 9			▲ 16	▲ 3	▲ 3	▲ 12	
四国				3	3	▲ 9			▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲ 9	
九州				▲ 4	▲ 4	▲ 10			▲ 46	▲ 3	▲ 3	▲ 9	
沖縄				12	9	7			5	9	5	8	
10エリア計				11	▲ 17	5			▲ 100	18	26	▲ 117	

H3需要の増減（10月時点差）												（単位：万kW）	
エリア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北海道	2	▲ 4	▲ 1	3	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 6	▲ 3	▲ 1	0	1	
東北	31	32	23	44	35	7	▲ 4	▲ 2	3	4	22	9	
東京	0	48	89	135	135	95	▲ 19	16	46	133	133	19	
中部	▲ 50	▲ 61	▲ 26	▲ 29	▲ 29	▲ 133	▲ 104	▲ 43	▲ 47	1	1	▲ 24	
北陸	▲ 4	▲ 12	3	0	0	▲ 3	▲ 6	▲ 5	1	5	5	▲ 7	
関西	▲ 37	▲ 26	▲ 6	6	6	▲ 23	▲ 18	▲ 24	▲ 14	7	7	▲ 32	
中国	▲ 1	▲ 2	13	▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲ 12	▲ 20	▲ 15	▲ 2	▲ 2	▲ 11	
四国	▲ 9	1	▲ 3	5	5	▲ 4	9	2	0	0	0	▲ 6	
九州	▲ 38	▲ 6	3	1	1	▲ 4	▲ 20	▲ 1	▲ 54	▲ 11	▲ 11	▲ 17	
沖縄	3	7	5	6	6	6	4	2	1	5	1	3	
10エリア計	▲ 104	▲ 23	100	168	155	▲ 66	▲ 173	▲ 81	▲ 82	141	156	▲ 65	

- 2 記載に一部訂正がありますので、次ページをご参照ください。
訂正内容については、第84回本委員会資料3をご参照ください。

- https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/files/chousei_84_03.pdf 需要に対し
7月の東京エリアにおいても、予備率が3.8%となった。1・2月の北海道エリアの予備率は5.4%となっているものの、今冬実績を踏まえた想定需要の上方修正等により需給が厳しくなるリスクがある。
- なお、供給計画の取りまとめまでに、事業者から提出されたデータの確認など、今後も需給両面で変化要素が残っている。

厳気象H1需要に対する各エリアの予備率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道				7.6%	11.1%	21.1%			12.6%	5.4%	5.4%	14.3%
東北				7.6%	11.1%	21.1%			12.6%	5.4%	5.4%	14.3%
東京				3.8%	4.0%	5.0%			12.4%	5.4%*	5.4%*	14.0%
中部				11.8%	12.6%	8.7%			12.4%	9.0%	8.5%	14.0%
北陸				11.8%	13.9%	13.5%			12.4%	9.0%	8.5%	14.0%
関西				11.8%	13.9%	13.5%			12.4%	9.0%	8.5%	14.0%
中国				11.8%	13.9%	13.5%			12.4%	9.0%	8.5%	14.0%
四国				11.8%	14.2%	13.5%			12.4%	9.0%	8.5%	19.7%
九州				11.8%	13.9%	18.8%			12.4%	9.0%	8.5%	14.0%
沖縄				14.9%	17.2%	22.5%			25.6%	22.9%	47.2%	49.6%

H3需要に対する各エリアの予備率

* 今後の需給両面での変化や連系線の空容量を考慮し、不等時率を考慮せず評価
※1 沖縄エリアのH3需要に対する予備率は未更新 ※2 高浜4のトラブル停止は未反映

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	23.1%	46.5%	50.3%	23.7%	25.0%	38.3%	27.6%	27.9%	21.0%	15.4%	14.9%	26.5%
東北	19.0%	19.7%	22.6%	16.9%	24.3%	38.3%	27.6%	27.9%	21.0%	15.4%	14.9%	26.5%
東京	16.4%	12.6%	13.0%	9.6%	9.9%	18.1%	21.7%	9.2%	15.1%	15.1%	14.9%	20.0%
中部	28.1%	22.4%	28.9%	18.7%	20.1%	21.2%	21.7%	13.1%	15.1%	15.1%	14.9%	20.0%
北陸	28.1%	30.2%	28.9%	18.7%	21.0%	21.9%	21.7%	13.1%	15.1%	15.1%	14.9%	22.3%
関西	28.1%	30.2%	28.9%	18.7%	21.0%	21.9%	21.7%	17.9%	15.1%	15.1%	14.9%	22.3%
中国	28.1%	30.2%	28.9%	18.7%	21.0%	21.9%	21.7%	17.9%	15.1%	15.1%	14.9%	22.3%
四国	28.1%	30.2%	28.9%	18.7%	22.1%	21.9%	25.9%	17.9%	15.1%	15.1%	14.9%	37.8%
九州	33.5%	31.8%	28.9%	18.7%	21.0%	29.3%	45.8%	24.2%	15.1%	15.1%	14.9%	22.3%
沖縄	65.1%	59.2%	39.7%	38.7%	36.8%	31.4%	36.6%	52.6%	63.7%	63.2%	68.4%	78.5%

- 2/10時点で提出された供給計画（案）に基づく供給力増減の反映により、厳気象H1需要に対し7月の東京エリアにおいても、予備率が3.2%となった。1月の北海道エリアの予備率は5.5%となっているものの、今冬実績を踏まえた想定需要の上方修正等により需給が厳しくなるリスクがある。
- なお、供給計画の取りまとめまでに、事業者から提出されたデータの確認など、今後も需給両面で変化要素が残っている。

厳気象H1需要に対する各エリアの予備率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道				8.8%	11.1%	19.6%			12.4%	5.5%	6.3%	14.0%
東北				8.8%	11.1%	19.6%			12.4%	5.5%	6.3%	14.0%
東京				3.2%	3.9%	5.5%			12.4%	5.2%*	5.1%*	14.0%
中部				10.8%	12.7%	9.6%			12.4%	9.0%	8.5%	14.0%
北陸				12.2%	14.0%	13.1%			12.4%	9.0%	8.5%	14.0%
関西				12.2%	14.0%	13.1%			12.4%	9.0%	8.5%	14.0%
中国				12.2%	14.0%	13.1%			12.4%	9.0%	8.5%	14.0%
四国				12.2%	14.4%	13.1%			12.4%	9.0%	8.5%	21.3%
九州				12.2%	14.0%	18.6%			12.4%	9.0%	8.5%	14.0%
沖縄				14.9%	17.2%	22.5%			25.6%	22.9%	47.2%	49.6%

H3需要に対する各エリアの予備率

* 今後の需給両面での変化や連系線の空容量を考慮し、不等時率を考慮せず評価
 ※1 沖縄エリアのH3需要に対する予備率は未更新 ※2 高浜4のトラブル停止は未反映

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	23.1%	46.5%	50.3%	23.7%	25.0%	36.5%	27.0%	28.8%	20.5%	15.6%	16.2%	24.2%
東北	17.0%	20.3%	22.3%	18.6%	24.3%	36.5%	25.9%	28.8%	20.5%	15.6%	16.2%	24.2%
東京	17.0%	12.1%	12.8%	9.0%	9.8%	18.6%	22.2%	8.9%	15.1%	15.0%	14.7%	20.9%
中部	28.2%	23.0%	29.1%	18.1%	20.1%	21.7%	22.2%	13.9%	15.1%	15.0%	14.7%	20.9%
北陸	28.2%	30.6%	29.1%	19.2%	21.1%	21.7%	22.2%	13.9%	15.1%	15.0%	14.7%	21.7%
関西	28.2%	30.6%	29.1%	19.2%	21.1%	21.7%	22.2%	17.0%	15.1%	15.0%	14.7%	21.7%
中国	28.2%	30.6%	29.1%	19.2%	21.1%	21.7%	22.2%	17.0%	15.1%	15.0%	14.7%	21.7%
四国	28.2%	30.6%	29.1%	19.2%	22.4%	21.7%	22.2%	17.0%	15.1%	15.0%	14.7%	39.6%
九州	33.0%	30.6%	29.1%	19.2%	21.1%	29.1%	45.0%	24.9%	15.1%	15.0%	14.7%	21.7%
沖縄	65.1%	59.2%	39.7%	38.7%	36.8%	31.4%	36.6%	52.6%	63.7%	63.2%	68.4%	78.5%

- 供給計画の取りまとめまでに、提出データの確認や非電気事業者からの調達量の反映等により、引き続き、需給両面での変化要因は残っている。
- また電源トラブル等の突発事象によっても、先行きの供給力に影響がある場合がある。

今回の反映内容と今後の変化要因

	変化要素	判明時期	備考
供給	調整力公募結果 による供給力増減	12/9 (公募結果公表)	・2023年度向け公募結果を反映
	休廃止計画や補修計画 の追加・変更	2月中旬 〔供給計画案 取りまとめ〕	・発電事業者、小売電気事業者等から2/10までに提出された供給計画（案）に基づき反映 ・沖縄エリアを含む、今回集約に含まれていない事業者データの反映や提出データの確認等により、変更となる可能性がある
	水力供給力の変化 (調整係数・補修計画の更新)		
	非電気事業者からの 調達量の変化	3月中旬 〔供給計画 取りまとめ〕	・太陽光、風力とそれ以外の分類が必要であり、作業量を踏まえ、今回は未反映
	休廃止電源の情報掲示板等 活用による計画変更	—	・休廃止に伴う9か月前までの事業届出に応じて、今後追加となる可能性
	電源トラブル等	—	・今後突発的に発生する可能性
需要	経済見通しの更新 今夏実績の分析等	1/24,25 〔需要想定 公表等〕	・H3需要・厳気象H1需要とも現時点の想定 ・経済見通しや需要想定のある方検討等を踏まえた 想定を確認 ・ただし、今冬実績が厳寒H1需要想定を上回ったエリアがあり、 厳寒H1需要想定が修正される可能性がある

記載に一部訂正がありますので、次ページをご参照ください。

訂正内容については、第84回本委員会資料3をご参照ください。

https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/files/chousei_84_03.pdf

(単位：万kW)

エリア		7月	8月	9月
北海道	供給力	504	521	502
	需要	469	469	415
	予備率	7.6	11.1	21.1
	不足分	22	38	75
東北	供給力	1,503	1,628	1,642
	需要	1,397	1,466	1,356
	予備率	7.6	11.1	21.1
	不足分	65	118	246
東京	供給力	6,154	6,168	5,635
	需要	5,931	5,931	5,364
	予備率	3.8	4.0	5.0
	不足分	45	59	110
中部	供給力	2,922	2,958	2,678
	需要	2,613	2,626	2,463
	予備率	11.8	12.6	8.7
	不足分	231	253	142
北陸	供給力	582	592	525
	需要	520	520	463
	予備率	11.8	13.9	13.5
	不足分	46	57	49

エリア		7月	8月	9月
関西	供給力	3,249	3,308	2,811
	需要	2,905	2,903	2,477
	予備率	11.8	13.9	13.5
	不足分	257	317	260
中国	供給力	1,224	1,246	1,113
	需要	1,095	1,094	981
	予備率	11.8	13.9	13.5
	不足分	97	120	103
四国	供給力	589	604	555
	需要	526	529	489
	予備率	11.8	14.2	13.5
	不足分	47	59	51
九州	供給力	1,841	1,874	1,708
	需要	1,646	1,645	1,437
	予備率	11.8	13.9	18.8
	不足分	146	180	227
沖縄	供給力	196	203	204
	需要	171	173	167
	予備率	14.9	17.2	22.5
	不足分	20	25	32

※1 予備率3%に満たない場合「不足分」を負値で記載

※2 高浜4のトラブル停止は未反映

（単位：万kW）

エリア		7月	8月	9月
北海道	供給力	510	521	496
	需要	469	469	415
	予備率	8.8	11.1	19.6
	不足分	27	38	69
東北	供給力	1,520	1,629	1,621
	需要	1,397	1,466	1,356
	予備率	8.8	11.1	19.6
	不足分	81	119	224
東京	供給力	6,120	6,163	5,662
	需要	5,931	5,931	5,364
	予備率	3.2	3.9	5.5
	不足分	11	54	137
中部	供給力	2,910	2,959	2,700
	需要	2,626	2,626	2,463
	予備率	10.8	12.7	9.6
	不足分	205	254	163
北陸	供給力	584	593	524
	需要	520	520	463
	予備率	12.2	14.0	13.1
	不足分	48	57	47

エリア		7月	8月	9月
関西	供給力	3,258	3,309	2,801
	需要	2,903	2,903	2,477
	予備率	12.2	14.0	13.1
	不足分	268	318	250
中国	供給力	1,227	1,246	1,109
	需要	1,094	1,094	981
	予備率	12.2	14.0	13.1
	不足分	101	120	99
四国	供給力	594	605	553
	需要	529	529	489
	予備率	12.2	14.4	13.1
	不足分	49	61	49
九州	供給力	1,846	1,875	1,705
	需要	1,645	1,645	1,437
	予備率	12.2	14.0	18.6
	不足分	152	180	224
沖縄	供給力	196	203	204
	需要	171	173	167
	予備率	14.9	17.2	22.5
	不足分	20	25	32

※1 予備率3%に満たない場合「不足分」を負値で記載

※2 高浜4のトラブル停止は未反映

記載に一部訂正がありますので、次ページをご参照ください。
訂正内容については、第84回本委員会資料3をご参照ください。

https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/files/chousei_84_03.pdf

(単位：万kW)

エリア		12月	1月	2月	3月
北海道	供給力	563	566	566	572
	需要	500	537	537	500
	予備率	12.6	5.4	5.4	14.3
	不足分	48	13	13	57
東北	供給力	1,582	1,571	1,562	1,492
	需要	1,405	1,491	1,482	1,305
	予備率	12.6	5.4	5.4	14.3
	不足分	135	35	36	148
東京	供給力	5,124	5,766	5,770	5,169
	需要	4,560	5,473*	5,473*	4,533
	予備率	12.4	5.4	5.4	14.0
	不足分	427	129	133	500
中部	供給力	2,475	2,631	2,621	2,391
	需要	2,203	2,415	2,415	2,097
	予備率	12.4	9.0	8.5	14.0
	不足分	206	144	133	231
北陸	供給力	563	599	597	534
	需要	502	550	550	469
	予備率	12.4	9.0	8.5	14.0
	不足分	47	33	30	52

エリア		12月	1月	2月	3月
関西	供給力	2,687	2,825	2,813	2,468
	需要	2,392	2,593	2,593	2,164
	予備率	12.4	9.0	8.5	14.0
	不足分	224	155	143	239
中国	供給力	1,211	1,217	1,212	1,103
	需要	1,078	1,117	1,117	967
	予備率	12.4	9.0	8.5	14.0
	不足分	101	67	62	107
四国	供給力	557	548	546	533
	需要	496	503	503	445
	予備率	12.4	9.0	8.5	19.7
	不足分	46	30	28	74
九州	供給力	1,690	1,728	1,721	1,527
	需要	1,505	1,586	1,586	1,339
	予備率	12.4	9.0	8.5	14.0
	不足分	141	95	88	148
沖縄	供給力	151	157	181	176
	需要	120	128	123	118
	予備率	25.6	22.9	47.2	49.6
	不足分	27	25	54	55

※1 予備率3%に満たない場合「不足分」を負値で記載

※2 高浜4のトラブル停止は未反映

* 今後の需給両面での変化や連系線の空容量を考慮し、不等時率を考慮せず評価

（単位：万kW）

エリア		12月	1月	2月	3月
北海道	供給力	562	566	571	570
	需要	500	537	537	500
	予備率	12.4	5.5	6.3	14.0
	不足分	47	13	18	55
東北	供給力	1,579	1,573	1,575	1,487
	需要	1,405	1,491	1,482	1,305
	予備率	12.4	5.5	6.3	14.0
	不足分	132	37	49	144
東京	供給力	5,125	5,760	5,753	5,169
	需要	4,560	5,473*	5,473*	4,533
	予備率	12.4	5.2	5.1	14.0
	不足分	428	123	116	499
中部	供給力	2,476	2,632	2,620	2,391
	需要	2,203	2,415	2,415	2,097
	予備率	12.4	9.0	8.5	14.0
	不足分	207	145	133	231
北陸	供給力	564	600	597	534
	需要	502	550	550	469
	予備率	12.4	9.0	8.5	14.0
	不足分	47	33	30	52

エリア		12月	1月	2月	3月
関西	供給力	2,688	2,826	2,813	2,468
	需要	2,392	2,593	2,593	2,164
	予備率	12.4	9.0	8.5	14.0
	不足分	224	156	143	238
中国	供給力	1,212	1,218	1,212	1,103
	需要	1,078	1,117	1,117	967
	予備率	12.4	9.0	8.5	14.0
	不足分	101	67	62	107
四国	供給力	557	548	546	540
	需要	496	503	503	445
	予備率	12.4	9.0	8.5	21.3
	不足分	47	30	28	81
九州	供給力	1,691	1,729	1,721	1,527
	需要	1,505	1,586	1,586	1,339
	予備率	12.4	9.0	8.5	14.0
	不足分	141	95	87	148
沖縄	供給力	151	157	181	176
	需要	120	128	123	118
	予備率	25.6	22.9	47.2	49.6
	不足分	27	25	54	55

※1 予備率3%に満たない場合「不足分」を負値で記載

※2 高浜4のトラブル停止は未反映

* 今後の需給両面での変化や連系線の空容量を考慮し、不等時率を考慮せず評価

今 記載に一部訂正がありますので、次ページをご参照ください。

訂正内容については、第84回本委員会資料3をご参照ください。

https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/files/chousei_84_03.pdf

- 2023年度の需給見通しについて、現時点では2023年度供給計画の策定途上であり、全事業者の計画を把握することはできていない状況にはあるが、2/10時点までに提出された事業者の供給計画（案）に基づき需給バランスを更新した。
- 電源の休廃止計画や補修計画の変更など、増加・減少両方向で供給力の変化が計上され、東京エリアの7月においても、厳気象H1需要に対する予備率が3.8%となった。
- 今後、供給計画の提出データを確認する必要があることや、今冬の気象実績を踏まえた厳寒H1需要の上方修正の可能性など、引き続き需給両面で変化要因は残っており、特に、冬季の北海道エリアについて、今冬の需要実績が想定を上回っており、想定需要が上方修正される可能性等があり、需給が厳しくなるリスクが残されている。
- このため、提出された供給計画（案）の確認等を進め、3月の供給計画の取りまとめ結果を踏まえた需給バランスをもとに、追加供給力対策の要否を見極めつつ、必要に応じて国や関係事業者と連携して対応を進めていく。

- 2023年度の需給見通しに関して、現時点では2023年度供給計画の策定途上にあり、全事業者の計画を把握することはできていない状況にはあるが、2/10時点までに提出された事業者の供給計画（案）に基づき需給バランスを更新した。
- 電源の休廃止計画や補修計画の変更など、増加・減少両方向で供給力の変化が計上され、東京エリアの7月においても、厳気象H1需要に対する予備率が3.2%となった。
- 今後、供給計画の提出データを確認することや、今冬の気象実績を踏まえた厳寒H1需要の上方修正の可能性など、引き続き需給両面で変化要因は残っており、特に、冬季の北海道エリアについて、今冬の需要実績が想定を上回っており、想定需要が上方修正される可能性等があり、需給が厳しくなるリスクが残されている。
- このため、提出された供給計画（案）の確認等を進め、3月の供給計画の取りまとめ結果を踏まえた需給バランスをもとに、追加供給力対策の要否を見極めつつ、必要に応じて国や関係事業者と連携して対応を進めていく。